

# 仙 宇 宙

六田知弘 写真展

前期 | 日本編 | 2020年2月11日(火・祝) — 3月15日(日)

後期 | アジア編 | 2020年3月17日(火) — 4月19日(日)

開館時間: 10時~17時30分(入館は17時まで) 休館日: 月曜 ※2月24日(月・振休)は開館 主催: 相田みつを美術館



無著菩薩立像 運慶作 興福寺

相田みつを美術館  
Mitsuo Aida Museum [第2ホール]

# 永遠の過去 永遠の未来 永遠の仏宇宙

仏像は自ら選んだ者にしか真の姿を見せません。奈良県に生まれた六田知弘は、幼少期から仏像巡りをし、二十代はヒマラヤ山中のチベット仏教の地に暮らしています。その後日本のみならず中国雲岡石窟をはじめ、アジア各地の仏教遺跡を隔々まで回り、仏の宇宙を観じ撮ってきました。本展は、仏像写真の集大成となる写真集『仏宇宙』(生活の友社)の刊行を記念し開催するものです。当館での六田知弘写真展は「巡礼の道」('08)「3.11 時のアイコン」('13)について3度目となります。深閑として鳴動する仏宇宙。六田知弘・仏像写真の精髓をどうかご覧ください。

前期：日本編

2月11日(火・祝) — 3月15日(日)



持国天像 運慶作 興福寺



仏手 個人蔵



大日如来坐像 運慶作 円成寺



勢至菩薩像 個人蔵

六田知弘写真展

仏宇宙

BUDDHA UNIVERSE TOMOHIRO MUDA



ナンダマンニヤ寺院壁画 ミャンマー・バガン



雲岡石窟第17窟 中国



ポロブドゥール インドネシア

後期：アジア編

3月17日(火) — 4月19日(日)

## 開催記念トークショー

六田知弘氏(写真家)×玄侑宗久氏(作家・僧侶)

2月15日(土)

18時45分～20時(受付開始18時15分～)

参加料：1,800円(ドリンク付)

定員：100名 事前申込制

場所：相田みつを美術館 第2ホール

※お申込みは館内の申込用紙、電話もしくはHP上でお願いします。

## 写真家 六田知弘

(むだ とひろ)

1956年奈良県生まれ。1980年早稲田大学を卒業。

1982年よりネパールヒマラヤ山中のシャルパの村に暮らして撮影。

1988年初個展「ひかりの素足-シェルパ」(新宿ニコソロン)を開催する。

以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を遠くを探りながら、

モノ、風景、石、水、壁、人、文化財や遺跡、古美術品など

様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。

www.muda-photo.com/

## ギャラリートーク

六田知弘氏(写真家)・相田一人(相田みつを美術館館長)

・2月23日(日)

・3月21日(土)

各日15時～

無料(ただし入館券が必要)

場所：相田みつを美術館 第2ホール

### ◎JR線

有楽町線「国際フォーラム口」より徒歩3分

東京駅「丸の内南口」より徒歩5分

京葉線「東京駅」と地下1階コンコースにて連絡(4番出口)

### ◎地下鉄

有楽町線「有楽町駅」より徒歩3分/地下1階コンコースにて連絡(D5出口)

日比谷線「日比谷駅」より徒歩5分、「銀座駅」より徒歩5分

千代田線「二重橋前駅」より徒歩5分、「日比谷駅」より徒歩7分

丸ノ内線「東京駅」より徒歩5分、「銀座駅」より徒歩5分

銀座線「銀座駅」より徒歩7分、「京橋駅」より徒歩7分

三田線「日比谷駅」より徒歩5分

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1 東京国際フォーラム地下1階

TEL.03-6212-3200(代表) www.mitsuo.co.jp



[ 開館時間 ] 10時～17時30分(入館は17時まで)

[ 休館日 ] 月曜 ※2月24日(月・振休)は開館

[ 入館料 ] 相田みつを美術館 第1ホール「みつをの言葉力」との共通券となります

一般・大学生：800円/中・高校生：500円/

小学生：200円(未就学児は無料)/70歳以上の方は600円

※障害のある方及び付き添いの方は無料(手帳のご提示をお願いします)

※団体割引有り ※ミュージアムショップは入場無料

※展示作品には英語訳がついています

Mitsuo Aida Museum  
相田みつを美術館